

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

断熱をデザインする家

グループの名称

岡山もくもく会

直近採択グループ番号

06-0413-0621

(グループ代表者)

代表者名

高元 竜太

代表者印

代表者所属先

株式会社タカ建築

代表者所在地

岡山県岡山市北区田中159-104

代表者電話番号

086-243-6384

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社Sグリーン

事務局担当者名

高元 礼子

印

事務局郵便番号

700-0951

事務局所在地

岡山県岡山市北区田中159-104

事務局電話番号

086-238-1811

事務局FAX

086-243-6984

事務局担当者E-mail

takamoto@takaken-okayama.com

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		7	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		3	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	本事業への参加希望をする工務店から配分していき、その中でも取組棟数の少ない工務店や受注が獲得している工務店を優先的に配分していく。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	3	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	3	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 断熱をデザインする家	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 岡山もくもく会	(結成年) 2014 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0413-0621	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	①平成25年度基準における当該地域に求められる断熱性能より2ランク上を目指すこととする。 ②長寿命型においては耐震対策等級3を目指すこととする。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	夏の日射を遮蔽するための技術や工夫(太陽光角度の計算による軒、庇、シェード、簾など)冬の暖房補助になるための日射の取り込み方。地域の風向きに合わせた開口部の設計など。密着した住宅街から、農村地域の風の取り込み方から日射利用の工夫。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	南方位±15度に配置された家は南側開口部に軒、庇をつけるようにする。	○
④①～③の背景	外観のデザインばかりを重視した住宅も目立ってきて、岡山という温暖な気候であっても、冬無暖房で暮らせるわけがない。まして、夏ともなれば日射を取り込みすぎてオーバーヒート状態の室内を高性能化したエアコンに頼り快適な空間を作っている…そんな住宅が増える中パッシブ要素を取り入れ、断熱をデザインすることで、設備だけに頼らない快適な家づくりを目指している。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: プレカット業者を固定することで数通りの標準仕様を定め、寸法を規格化している。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 一部建材を統一している。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 一部設備を各社共通の標準仕様になっている。	○
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 材木を納入する窓口を固定化している。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 流通・配送の仕組みを標準化することで安定的にし、コストもおさえている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 生産性合理化委員会を設け、3か月に一度検討会を開催している。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 毎月実施する定例会において、対象物件の予定・進捗報告会を実施し、供給業者への事前報告を行うことで、資材調達納期を確保できるようにする。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工会社が各社の標準施工仕様書を作成する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 標準施工仕様書を元に現場監査を行う。第三者の現場監査が受けられる体制を準備する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 毎月実施する定例会において、長期優良住宅、低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅についてテーマを決めた討論会をする。	
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 人材確保の為、福利厚生充実を考慮し出来る限り導入したい	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: まだ取組は出来ていないが、会の中で賃金や福利厚生のあり方の情報共有を行い実現に向けて取り組みたい	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各社必須としている	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 各社必須としている	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	123	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 断熱をデザインする家	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岡山もくもく会	(結成年) 2014 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0413-0621			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅蓄積情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報管理への登録	○	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: あんしんいえる	○	
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 株式会社住宅あんしん保証への確認	○	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通メンテナンス仕様書がある	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 共通メンテナンス仕様書に補修項目を追記検討する	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主確認印をもらう	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年一度の共同イベントにて実施	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年一度の共同感謝祭イベントにて実施	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 暮らし方(省エネ)セミナーの実施	◎
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年一度、各構成員が問題を抽出し、検討会を実施する。	◎		
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: OB宅にてメンテナンス実演会の実施	○		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 『完成保証制度』が付保出来る状態にしておく。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年一度、各構成員が問題を抽出し、検討会を実施する	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ・耐震・維持管理・劣化の軽減等ジャンル別に研修会を開き、技術レベルを高めている。座学だけではなく、現場での研修会も開催している。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場検査マニュアルの作成	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者検査士による現場検査	○	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 柱・土台・横架材についてはすべて合法木材とする。品質の安定の為、すべてプレカット業者にてプレカット材とする。これにより使用立米数を明確にすることができる。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 2018年までにBELS取得率50%、2020年までに100%を目指す。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工会社の営業、設計、工務、大工と関連する社員全員で長期優良住宅の知識を向上させ、ゼロエネの手法についても勉強していく。	◎	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 15 今年度の参加目標人数	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数		
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外壁の付加断熱技術の導入	○	
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 断熱をデザインする家	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県													
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 岡山もくもく会	(結成年) 2014 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0413-0621														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a															
①	地域材利用に関する 共通 ルール (必須)	柱・土台・横架材についてはすべて合法木材とする。 品質の安定の為、すべてプレカット業者にてプレカット材とする。 これにより使用立米数を明確にすることができる。	◎												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合 (必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
③	標準的な地域材の使 用部位 (必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	<p>(1) 以下に該当する認証制度に基づく証明書の添付 PEFC森林認証制度: 森林経営の持続性や環境保全の配慮などについて、 民間の第三者機関により認証された森林から産出される木材・木材製品 (2) 原木の産出国が分かる書類の雛形の添付</p>													
b															
①-1	地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 在庫表と価格表を作成し、定期的に施工会社へ情報提供する	◎												
①-2	地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 材木業者が定期的に価格情報を提供する	○												
②	グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 安定供給できる状態	◎												
c															
①-1	畳の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
①-2	和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
①-3	襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 14 枚	○												
①-4	障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 18 枚	○												
②-1	その他地域の伝統的な素 材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
②-2	その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
d															
①	地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
②	地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 瀬戸内特有の「風」発生時でもわずかな風でも取り込めるよう風通しを意識した設計提案実施。	○												
③	地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 周囲の街並みにも配慮し、設計時に周りとの調和を極端に乱すような色使いや、デザインは施主の要望であってもできる限り排除した提案を行い、説得していく。	○												
④	和の住まいの要素を取 入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:													
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。															
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
東日本大震災の復興に資する取組															
平成28年熊本地震の復興に資する取組															

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 断熱をデザインする家	(地域型住宅供給対象地域) 岡山県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 岡山もくもく会	(結成年) 2014年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0413-0621	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロエネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>『断熱をデザインする家』 UA値0.55 3地域目標</p> <p>断熱材例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天井断熱 A種硬質ウレタンフォーム保温板1種 65mm ・壁断熱 A種硬質ウレタンフォーム保温板1種 65mm ・基礎断熱 押出法ポリスチレンフォーム 50mm <p>サッシ 熱貫流率 2.33</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暖房設備 <設備仕様>…【主たる居室】ルームエアコンディショナー 特に省エネルギー対策をしていない 【その他の居室】ルームエアコンディショナー 特に省エネルギー対策をしていない ・冷房設備 <設備仕様>…【主たる居室】ルームエアコンディショナー 特に省エネルギー対策をしていない 【その他の居室】ルームエアコンディショナー 特に省エネルギー対策をしていない ・換気…壁付け式第二種換気設備または壁付け式第三種換気設備 比消費電力:0.05W/(m³/h) 換気回数:0.5回/h 熱交換…熱交換型換気を採用しない ・給湯設備 <熱源機>…電気ヒートポンプ給湯機(CO₂系冷媒)(JIS効率:3.6) 風呂給湯機(追焚あり) <配管>…ヘッダー方式(ヘッダー分岐後のすべての配管径が13A以下) <水栓>…台所:2バブル水栓以外のその他の水栓(水優先吐水) 浴室シャワー:2バブル水栓以外のその他の水栓(手元止水・小流量吐水機能) 洗面:2バブル水栓以外のその他の水栓(水優先吐水) <浴槽>…高断熱浴槽を採用する ・照明設備 <主たる居室>…白熱灯の使用:すべての機器において白熱灯を使用していない 多灯分散照明方式の採用:採用していない 調光が可能な制御:採用していない <その他の居室>…白熱灯の使用:すべての機器において白熱灯を使用していない 調光が可能な制御:採用していない <非居室>…白熱灯の使用:すべての機器において白熱灯を使用していない 人感センサー:採用する ・太陽光発電設備(パネル1面) <その1>システム要領:5.7kw 種類:結晶シリコン系 設置方式:屋根置き形 パネル傾斜:20度 パネル方位:真南から東および西へ15度未満 		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。